

問題77 誤っている組合せはどれか。

1. 不安障害———広場恐怖
2. 身体表現性障害———疼痛性障害
3. 広汎性発達障害———Asperger(アスペルガー)症候群
4. 人格障害———多重人格
5. 気分障害———双極性障害

問題78 疾患と治療法との組合せで適切なのはどれか。

1. 認知症———催眠療法
2. 人格障害———森田療法
3. 統合失調症———回想法
4. 気分障害———認知行動療法
5. 発達障害———自律訓練法

問題79 Alzheimer型認知症と血管性認知症の特徴で共通するのはどれか。2つ選べ。

1. 妄想
2. 日内変動
3. 高血圧合併
4. うつ状態
5. 性差

問題80 作業療法士が認知症患者の家族へ対応する上で適切でないのはどれか。

1. 家族に今までの介護経験を尋ねる。
2. 作業療法場面を見学させる。
3. 家族の健康状態を尋ねる。
4. 特定の人が介護を担うように指示する。
5. 家庭を訪問する。

問題81 物質依存についての組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 覚せい剤中毒——フラッシュバック
2. シンナー中毒——嫉妬妄想
3. 大麻常用——身体依存
4. 睡眠薬依存——耐性獲得
5. カフェイン依存——共依存

問題82 統合失調症患者の作業療法場面での行動特徴で誤っているのはどれか。

1. とっさの判断を求められると戸惑う。
2. 特定の作業活動に執着する。
3. 同時に二つの課題を与えられると混乱しやすい。
4. 新しいものに慣れるまで時間がかかる。
5. 計画的に物事を進めることが困難である。

問題83 回復期前期の統合失調症患者に対する作業療法の目的で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 楽しむ体験
2. 対人交流の促進
3. 社会参加のための情報収集
4. 身体感覚の回復
5. 就労支援

問題84 慢性期統合失調症患者に作業療法を導入する際の留意点で適切でないのはどれか。

1. それまでの患者の生活パターンを保つ。
2. 複数の課題を提示する。
3. 何もしなくてもよいことを保障する。
4. 段階づけができる工程を準備する。
5. 完成品の見本を見せながら手順を話す。

問題85 病状が安定している慢性期統合失調症患者が単身生活を始める場合に、優先して身に付けるべき技能はどれか。

1. 就業のための技能
2. 服薬管理の技能
3. 調理の技能
4. 余暇を楽しむ技能
5. 近所付き合いの技能

問題86 うつ病にみられる妄想はどれか。2つ選べ。

1. 血統妄想
2. 貧困妄想
3. 心気妄想
4. 嫉妬妄想
5. 誇大妄想

問題87 躁状態の患者の作業療法で観察されるのはどれか。2つ選べ。

1. 作業手順にこだわる。
2. 細かな部分を気にかける。
3. 自分の判断で先に進む。
4. 一つの作業だけに集中する。
5. 他人の作業に口をはさむ。

問題88 初老期うつ病に対する作業療法導入期に用いる活動で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 散歩
2. 機織
3. ソフトボール
4. 塗り絵
5. 農耕

問題89 神経性無食欲症の患者に対する作業療法で適切でないのはどれか。

1. 行動制限に伴うストレスを発散させる。
2. 食行動を促す調理活動を提供する。
3. 対人交流を楽しめる場を提供する。
4. 自己表現を助ける作業活動を提供する。
5. 道具や材料の自己管理を促す。

問題90 身体表現性障害の患者に対する作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 治療者への依存を促す。
2. 身体症状の意味を解釈する。
3. 集団作業療法を基本とする。
4. 身体運動プログラムを行う。
5. ストレスについて話し合う。

問題91 解離性(転換性)障害でみられないのはどれか。

1. 心的外傷の体験
2. 1人の場面での発作
3. 不規則で多彩なけいれん発作
4. 解剖学的な分布と乖離した知覚脱失
5. 数か月後には寛解する傾向

問題92 境界型人格障害の患者に対する作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 個別面接は患者の要求に応じて随時行う。
2. 作品作りを通して依存欲求を満たす。
3. 自傷行為がみられたら担当者を交代する。
4. 攻撃行動がみられたら解釈して患者に説明する。
5. 表現活動を通し衝動発散を促す。

問題93 注意欠陥/多動性障害(ADHD)の特徴はどれか。2つ選べ。

1. 模倣遊びができない。
2. 常同的な行動を繰り返す。
3. 長い間座ってられない。
4. 課題を順序立てるのが難しい。
5. アイコンタクトがみられない。

問題94 Asperger(アスペルガー)症候群の特徴はどれか。2つ選べ。

1. 特定の作業へのこだわり
2. 情緒的な相互性の欠如
3. 言葉の発達の遅れ
4. 巧緻性の発達の遅れ
5. 周囲への無関心

問題95 広汎性発達障害児の就学に向けた作業療法で適切でないのはどれか。

1. 学校の環境調整を図る。
2. 身辺処理能力の向上を目指す。
3. 異年齢集団での対人交流を促す。
4. 家族へ障害の特徴を伝える。
5. 遊びの幅を広げる。

問題96 精神遅滞(知的障害)の作業療法の目的で誤っているのはどれか。

1. 日常生活動作の獲得を目指す。
2. 作業体験の機会を提供する。
3. 対人交流の練習をする。
4. ストレス対処法を学ぶ。
5. 自己洞察を促す。

問題97 知的障害のあるてんかん患者が作業療法中に両上肢を挙上したまま十数秒間
つっぱり続け、呼びかけても返答がなかった。

この発作はどれか。

1. ミオクロニー発作
2. 単純部分発作
3. 欠神発作
4. 強直発作
5. 間代発作

問題98 てんかん患者の作業療法で誤っているのはどれか。

1. 生活技能訓練を行う。
2. 役割に応じた責任を持たせる。
3. 休息のタイミングを習得させる。
4. 視覚刺激の強い作業を導入する。
5. 発作の予兆を把握する。

問題99 障害者自立支援法のサービスでないのはどれか。

1. グループホーム
2. ホームヘルプサービス
3. 就労移行支援
4. 地域活動支援センター
5. 自助グループ

問題100 精神障害者の地域生活移行支援に用いるアセスメントで適切なのはどれか。2つ
選べ。

1. POMS(Profile of Mood States)
2. LASMI(Life Assessment Scale for the Mentally Ill)
3. BPRS(Brief Psychiatric Rating Scale)
4. PANSS(Positive and Negative Syndrome Scale)
5. 精神障害者ケアアセスメント



